

有年地区

地 勢

有年地区は、市面積の約 40% を占め、そのほとんどが山林部である。千種川を挟んで東西に長い平野があり、東西からそれぞれ矢野川、長谷川が千種川に注ぎ込んで肥沃な土地を生み出し「文化財の宝庫」と呼ばれるほど多くの古代遺跡が存在する。北は上郡町、東は相生市と接し、西方にはしばらく平野地形がないため、中世の筑紫大道、近世の西国街道が通って宿場町が栄えた。

歴 史

西有年・馬路池遺跡では約 10,000 年前の石器が採集されている。人々の本格的な居住開始は縄文時代後期（4,000 年前）であり、その後は弥生時代中期以降の多くの遺跡が見つまっている。ま

た、市内唯一の前方後円墳である放亀山 1 号墳（古墳時代前期）、千種川流域最大の中期古墳である蟻無山 1 号墳が所在するほか、古墳時代後期には有年原・有年牟礼の奥山一帯には 150 基以上の古墳が築かれるなど、当時の隆盛を物語る。

古代には周世郷と大原郷に属し、平城宮出土木簡中に大原郷と秦氏の記載がみられるなど、渡来系氏族の痕跡がうかがえる。中世になると山岳寺院として遍照院や光明寺などが栄えたほか、中世山城が多数築かれていることから、地理的に重要な地であったことがうかがえる。近世には、有年宿が置かれて西播磨最大の宿場町となり、近代には山陽鉄道や赤穂鉄道が敷設されるなど、交通の要衝として発展した。

表 26 有年地区 年表

時 代	年 代	で き ご と
縄文時代早期 縄文時代後期 弥生時代中期	約10,000年前 約4,000年前 約2,000年前	西有年・馬路池遺跡で石鏃出土 ムラが営まれる（クルミ遺跡、上菅生遺跡、有年牟礼・井田遺跡、東有年・沖田遺跡） 有年各地で大規模なムラが営まれはじめる （東有年・沖田遺跡、有年原・田中遺跡、有年牟礼・井田遺跡など）
弥生時代後期 古墳時代中期 古墳時代後期	約1,800年前 5世紀初頭 6世紀後半～7世紀	大型墳墓が築かれる（有年原・田中遺跡、有年牟礼・山田遺跡） 蟻無山1号墳が築かれる 横穴式石室をもつ古墳が150基以上築かれる（塚山古墳群、木虎谷古墳群など） 大規模集落が営まれる（東有年・沖田遺跡、有年牟礼・井田遺跡など）
古 代	7世紀～8世紀 8世紀 9～10世紀 10世紀ころ 長和4(1015)年	官衙的な掘立柱建物群が築かれる（有年原・田中遺跡、西有年・長根遺跡） 赤穂郡大原郷の秦酒虫、秦造吉備人に関する木簡出土（平城宮出土木簡） 有年牟礼・山田遺跡で「秦」線刻土器出土 「大原郷」「周勢郷」と呼ばれていた（「和妙類聚抄」） 「有年庄」は藤原公任家の所領となっていた（有年庄の初出） この時の有力農民層（寄人）41名のうち12名は秦姓であった（「朝野群載」） 「有年庄」は京極殿（藤原師実）領となっていた（「近衛家所領目録」）
中 世	建長5(1253)年 興国6(1345)年 享徳年中 (1345～1350) 延文3(1358)年 14～15世紀 天文6(1537)年 天文20(1551)年 永祿11(1568)年 天正5(1577)年	黒沢山光明寺に題目笠塔婆が建てられる 本郷掃部守直頼、有年大鷹山に城（有年山城跡）を築く 有年橋原中所に地藏立像板碑が建立される 西有年に六道山遍照院が築かれ、向山五輪塔、西有年宝篋印塔、光明寺町石が建立される 本願寺証如、善祐門徒の赤穂郡宇念(有年)庄井内村惣道場に方便法身尊形を下付 明源寺開基 鍋ヶ城主小河丹後守、鶴ヶ堂城の太田治内を攻めるが敗れる 高野須城主赤松正澄、羽柴秀吉軍に攻められ上月城で戦死 山内一豊が秀吉から有年に知行700石をうけたとされる 池田輝政、播磨1国を領有
近 世	慶長5(1600)年 慶長16～17年 (1611～1612) 寛永12(1635)年 宝永3(1706)年 文政元(1818)年 文政2(1819)年	このころ、西有年に宿駅がおかれていた（「慶長播磨国絵図」） 参勤交代制の実施に伴い、東有年に宿駅が移されたと推定される 赤穂藩として森長直入封、有年は一部支配から外れる このころ、有年宿街道両側に100戸を超す人家が並ぶ（「有年宿絵図」） 黒沢山の龍生坊を栗栖村に移し、山上を奥の院とする 栗栖村と黒沢村とが合併、東有年村となる
近 代	明治3(1870)年 明治22(1889)年 明治23(1890)年 明治25(1892)年 明治43(1910)年 大正9(1920)年 大正10(1921)年 大正11(1922)年 大正13(1924)年 昭和6(1931)年 昭和16(1941)年 昭和18(1943)年	市制・町村制により有年村成立 山陽鉄道龍野一有年一三石間が開通し、有年駅が設置される 千種川氾濫により大被害 千種川に木橋の有年橋が架けられる 旧道路法施行により国道2号が認定される 赤穂鉄道開通、有年駅設置 有年村橋原地区において姫路水力電気株式会社から電灯線を引く工事が行われる 有年橋原に松岡病院が開設される 松岡與之助「郷土研究」を発刊する 有年文化協会が発会 横山の開拓がはじまる
現 代	昭和25(1950)年 昭和26(1951)年 昭和30(1955)年 昭和35(1960)年 平成7(1995)年 平成8(1996)年 平成11(1999)年 平成12(2000)年 平成17(2005)年 平成23(2011)年 平成29(2017)年	松岡秀夫、有年橋原に財団法人有年考古館を設立 赤穂鉄道、運行を終える 有年村、赤穂市に合併する 現在の有年橋が架橋される 有年原・田中遺跡公園開園 東有年・沖田遺跡公園開園 「かぶ～んうね」が完成 赤穂ふれあいの森が完成 有年土地画整理事業はじまる 財団法人有年考古館が解散、赤穂市立としてリニューアル開館 旧JR有年駅(明治23年建築)が撤去され、橋上駅舎となる